

岡山県テニス協会
ジュニア大会出場におけるガイドライン

2023.1.29 制定

1. 岡山県テニス協会ジュニア選手登録、日本テニス協会ジュニア選手登録

- ✓ 岡山県テニス協会ジュニアランキング対象トーナメント(以下 OPTA ジュニアランキング対象 トーナメント)に出場する選手は、岡山県テニス協会ジュニア登録が必要となります。
- ✓ 登録に関する詳細及び登録方法は岡山県テニス協会ホームページに掲載されています。
- ✓ OPTA ジュニアランキング対象トーナメントの中には日本テニス協会の JTA ジュニアランキング対象大会となっているものがあり、それらの大会(全国大会に繋がる県予選、中国予選 大会)に出場するためには JTA ジュニア選手登録番号が必要です。
- ✓ JTA ジュニア登録番号を取得するには、ジュニア選手が主にプレイしている団体が加盟している県協会に申請します。

2. エントリー申込方法

- ✓ 岡山県テニス協会主催の大会にエントリーできる選手は、JTA の選手登録をした者に限ります。未加入の選手は、登録を行ってから WEB エントリーをお願いします。
- ✓ HP ジュニア大会スケジュール欄より要項をよく見て申し込みをお願いします。
- ✓ 令和4年度から原則 WEB エントリーとなりました。
- ✓ 個人でもエントリー可、代表者がまとめてエントリーしていただいてもかまいません。
- ✓ 参加費は、要項に記載されている期日までにお振込みをお願いします。
- ✓ エントリー締切後に参加者リストを公開します。リスト公開後は、キャンセル不可(参加費のお支払いが必要)となりますので注意してください。

3. ダブルスの申し込み

- ✓ ダブルスはペアの試合であるため、あなたのパートナーに対する思いやりや感謝の気持ちについて学ぶことができます。
- ✓ エントリーに際しては、申込要項に合うパートナーを決めて申し込んでください。同じ所属で同じ年齢区分の人とペアを組む場合は問題ありませんが、トーナメントによって、他の所属や他県の人とペアを組む場合について制限がある場合は、要項をよく読んで、誤りのないように申し込んでください。
- ✓ 同一大会で、シングルスとダブルスを異なる年齢区分に申し込むことはできません。(例:16歳以下の選手が18歳以下の選手と組んで18歳以下のダブルスに申し込む場合 シングルスも18歳以下での参加となります。)

4. 参加料の振込について

- ✓ 以下、3点お気を付けください。
 - 振込み期間内に振込してください。
 - 振込名の前に、振込の指定番号を付けてください。
 - ※ 振込の頭に大会指定の番号を忘れないようにしてください。
 - 個人で振込む場合は、個人名のみを入れ、所属団体名は不要です。
- ✓ 所属団体名の後に個人名を入れた場合、受け取り側の通帳では個人名が全部入りません。また、個人で振込みなのに、所属団体名のみを入れていて、どなたかわからない選手もいますので注意してください。

5. ダブルエントリーについて

- ✓ ダブルエントリーとは、大会要項に記載されている本戦日程が重複している2つ以上の大会に申し込んでいる状態を意味します。予選及び予備日は本戦の日程とはみなしません。
- ✓ 大会要項で、本戦と予選の日程を区別して発表していない大会は、すべて本戦の日程となります。
- ✓ 本戦が1日でも重複している大会にエントリーした場合は、どちらかを選んで出場してください。出場する大会を決めたら、欠場する大会の主催者に欠場大会の要項に記載されている本戦初日の前日(17:00)までに「欠場届」を提出してください。
- ✓ エントリーした複数大会の種目(シングルス、ダブルス、年齢区分)が違っていてもダブルエントリーとなります。ダブルスにおいてペアの片方がダブルエントリーの場合、両者とも0ポイントとなります。
- ✓ 本戦が重複している2つ以上の大会(本戦)に申し込むことはできますが、出場したり、欠場届を提出しないと両大会(2大会以上重複している場合は、それらすべての大会)とも予選ポイントも含め「0ポイント」となります。(ランキング対象大会には加えない)本戦日程が大会要項上で1日でも重なっていたら「0ポイント」になりますので注意してください。
- ✓ 天候不順などにより予選が本戦日程にずれ込んだ場合は、予選途中となりますが要項で発表されている本戦初日の前日(17:00)までに欠場届を提出してください。
- ✓ 例外として、国際大会は、ダブルエントリーの対象となりません。

6. 大会の欠場について

- ✓ 大会に参加できなくなった時は、必ず主催者(大会要項に記載されている連絡先)へその理由を明記して欠場連絡をお願いします。

- ✓ 連絡の際には、氏名、JTA登録番号、種目とドロース番号、所属団体名、電話番号、欠場理由を伝えてください。
- ✓ 欠場届の取消は主催者判断となります。主催者に問い合わせてください。

7. 会場の確認

- ✓ 会場の住所や交通手段を確認して、トーナメントの会場にはどのように行ったらよいか注意深く調べておいてください。
- ✓ 休日と平日のダイヤが異なるのが普通ですので、開催日のダイヤを調べることが大切です。
- ✓ 車で行く場合には渋滞を考えるのは言うまでもありません。渋滞により受付締切までに間に合わない場合は欠場となりますので注意してください。

8. 試合の時間に間に合うように

- ✓ 組み合わせ表、日程表が発表されたら自分の試合予定を確認してください。
- ✓ 集合時間（出席を届ける時間）が決められている大会は、その時刻までに試合のできる服装で出席を届け出てください。決められた時刻までに出席を届けられない場合は欠場となりますので、遅れないよう十分気をつけてください。
- ✓ 試合時刻までに行けなかった場合には、ノーショウになります。プレイヤーがノーショウになる場合の時間は、日本テニス協会のルールに従いトーナメントレフェリーの判断によりなされます。
- ✓ 交通機関の遅れについては、遅刻の理由となる場合もあります。公共の交通機関で事故が起きた場合は、早い段階で大会本部に連絡し、駅で発行する証明書を持参すれば、大会運営に支障の無い範囲で、都合をつけてくれることもあります。ただし、大会によってはどんな理由でも遅刻が認められない大会もあります。

9. 天候

- ✓ 雨が降って、天気が不確かな場合にも会場に集合して指示に従ってください。
- ✓ トーナメントによっては、ホームページで発表や電話での問い合わせができる場合もありますが、特別な指示がない限りは、原則、会場に集合してください。
- ✓ 天候が疑わしい場合には、中止と思わないでください。雨は場所によって降らないこともありますし、雨がやむとすぐにできる会場もあるからです。

10. 受付とドロースのチェック

- ✓ 会場に着いたら、試合ができる服装に着替えて受付をしてください。
- ✓ 親やコーチではなく選手自身がドロース番号、氏名をはっきりと伝えてください。
- ✓ 大会要項、当日のスケジュールのページをよく読んで、試合形式やウォームアップ

時間などを確認してください。

- ✓ 相手が会場に来ない場合には W.O となり、あなたの勝利となります。
- ✓ 大会で使用される用語
 - RET (リタイア) ... ケガ・病気などの理由で試合を途中棄権したとき
 - DEF (デフォルト) ... 試合前・試合中にコード違反をし、失格したとき
 - W.O (ウォークオーバー) ... 相手選手の遅刻、出場辞退などで不戦勝になったとき
 - Not Played (ノットプレイド) ... 対戦する両選手が試合に現れなかったとき
 - No Show (ノーショウ) ... 決められた時刻に現れなかったとき
 - SA (START AT) ... 試合開始時刻
 - NB (NOT BEFORE) ... 前の試合が終了しても表示した時刻までは試合を始めない。
 - FOLLOWED BY: 前の試合が終わったらただちにプレイできるよう準備をする。

11. 試合の服装

- ✓ テニスウェアを着てください。遊び着や練習用シャツで試合をすることはできません。試合にふさわしいかどうかの最終判断はレフェリーがします。
- ✓ 服装や用具につけるロゴマークに制限がある大会では事前に確認して用意してください。ウェアを裏返したり、テープを貼ったりしたものは、不適切なウェアとして着ることはできません。※詳しくは、岡山県テニス協会の HP (大会出場の方へ) より確認してください。

12. 試合までの待機

- ✓ 多くのジュニアトーナメントでは、日程の初めは多くの試合が予定されています。
- ✓ 日程表によってあなたの試合の予定時刻を知らされますが、予定時刻になっても順番が来ないといって、何度も本部に聞きに行ったりするのはやめましょう。自分の名前がオーダーオブプレイのボードに貼り出されるまで待ちましょう。
- ✓ もし、相手が来ない場合には、W.O になるでしょう。しかし、この決定はレフェリーが行います。
- ✓ 食事、その他で会場を一時離れるときは、必ず競技本部に申し出て許可を得てからにしましょう。会場を離れている間に試合の順番となり、コートに入らない場合はノーショウとなり、相手選手の W.O となります。

13. 試合の進行

- ✓ 試合は、オーダーオブプレイのボードを使って進行する大会がほとんどです。
- ✓ 次の試合の順番になったら、ボールを取りに競技本部に行き、自分の試合が予定さ

れているコート近くで待機しましょう。前の試合が終わったらすぐにコートに入って試合を始めてください。

14. 熱中症対策

- ✓ 夏のジュニア大会・学校大会は、きびしい暑さの中で実施されています。体調をくずさないためにも、こまめな水分補給と氷の準備をしてください。
- ✓ 競技直前には必要以上に日にあたることを避け、試合に入る1～2時間前にスポーツドリンクやフレッシュジュースなど水分を十分に取ってください。
- ✓ 試合コートには十分な水分を持って入りましょう。エンドチェンジには、日差しを正面から受けないようにし、水分を補給してください。また、首筋、脇の部分に冷たいタオルをあて、体を冷やしてください。具合が悪くなったら、無理をせずレフェリーを呼んでください。

15. セルフジャッジ

- ✓ 現在、ほとんどの大会がセルフジャッジで行われています。試合中起こるトラブルのほとんどがアウト・フォールの判定や、スコアの食い違いによるものです。ジャッジコールをしない、ハンドシグナルも曖昧などジャッジが相手にわからないことが原因です。
- ✓ 日本テニス協会ではチェアアンパイアのつかない大会での正しいセルフジャッジを目指し、「セルフジャッジの5原則」を公表しています。

セルフジャッジ5原則

- ① 判定が難しい場合は「グッド」（相手有利に）！
 - ② 「アウト」「フォールト」はボールとラインの間に、はっきりと空間が見えたとき！
 - ③ サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス！
 - ④ ジャッジコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに！
 - ⑤ コートの外の方は、セルフジャッジへの口出しはしない！
- ✓ この5原則を基に、ボールの着地をきちんと確認してジャッジをし、両方の選手でスコアを確認して、次のポイントに入るようにしましょう。

各判定とコールする権利者は以下のとおりとする。

- ① 「フォールト」「アウト」「グット」はネットから自分側のプレーヤー・チームのいずれかがコールでき、その判定が成立する。

- ② 「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」は両プレーヤー・チームのいずれかがコールでき、その判定が成立する。
- ③ 「フットフォールト」はコート内にいるレフェリー（アシスタントレフェリー）、ロービングアンパイアのいずれか。
- ✓ 対戦相手からの故意の妨害「ヒンダランス」は、妨害を受けたプレーヤー・チームからの申し出によりレフェリー（アシスタントレフェリー）、ロービングアンパイアが判断します。ただし、妨害を認知しながら意識的にプレーを続行した場合は妨害とみなしません。

16. トイレットブレイクについて

- ✓ 県内の予選は、1セットルールが多いので、エンドチェンジの際にロービングへ申し出てトイレットブレイクをしてください。
- ✓ ただし、本来のルールではセットブレイク時に認められるルールなので、緊急性の高い場合のみとします。
- ✓ 基本的に、試合に入る前に必ずトイレを済ませておいてください。

17. トーナメントレフェリー、ロービングアンパイア

- ✓ トーナメントレフェリーは大会の期間中、ルールの法的解釈問題に関する最終決定者です。起こった疑問や問題はレフェリーに最終判断をおおぎます。
- ✓ チェアアンパイアのつかないセルフジャッジの試合では、ロービングアンパイアがおかれます。ロービングアンパイアは試合中の選手がすぐに呼ぶことができるよう担当するコートを巡回しています。トイレットブレイク、飲み物が必要になった場合、勝手にコート外へ出ずにロービングを呼ぶようにしてください。

18. ペナルティー規程

- ✓ 2023年度の岡山県ジュニアテニス大会から、別添「ジュニア大会ペナルティー（罰則）規程」を導入します。
- ✓ これは、ジュニアの皆さんがコート上の技術だけではなく、あらゆる面で高いレベルにあってほしいとの願いからです。
- ✓ 決して罰することを目的としたものではなく、選手がスポーツマンシップに則りコートマナーやルールを理解し、プレイヤーとして責任ある言動を守ることを目的として定められたものです。
- ✓ 大会は多くの方たちのサポートにより実施されています。感謝の気持ちを持って参加し、出場した大会を最後まで戦い抜くことが選手としての義務です。正当な理由がない限り、大会途中で別の予選大会に出場したりすることは、「スポーツマンシップに反する行為」に当たる場合があることを注意して、複数の大会に申込みを

した場合でも、最初に出場した大会を最後まで全うするようにしてください。

19. 試合等の撮影や録画について

- ✓ プライバシーの観点から、自分の試合をカメラ等で撮影や録画をする場合には、必ず対戦相手や対戦相手の保護者の方へ許可を得てから行ってください。

20. 試合の最後のポイントが終わったら

- ✓ 試合が終わったら、すぐにネットのところに行き相手選手に感謝して握手してください。
- ✓ 負けたからといってあいさつもしないで立ち去ったり、ふてくされたりしてはいけません。
- ✓ スコアボードを元にもどし、必要な場合はコート整備をし、勝者が試合球を持って、すぐにスコアを報告してください。
- ✓ 勝った選手は、次の試合の予定をチェックしてください。

21. 連続して試合を行う場合

- ✓ 続けて試合に入る場合には、次の試合をする前に規定の休憩時間をとることができます。しかし、天候や進行の都合で役員が決定したときは、休憩時間が短くなることもあります。

22. その日に会場を去る前に

- ✓ 大会本部で次の予定をチェックしないで会場を去ってはいけません。
- ✓ 既に発表されている日程が変更される場合もあるので、次の日のスケジュールを確かめ、何時に来たらよいかを確認しておきます。
- ✓ 大会は多くの人たちの協力によって開催されていることを理解し、会場を去る前にはそれらの人たちに挨拶して帰ってください。

23. 自分のことは自分で

- ✓ 保護者が会場について来ても、受付、試合時間の確認、スコアの報告、ボールの返却などすべての細かいことまで自分のことは自分でしてください。ジュニアトーナメントはあなたのためのものであって、大人のためのもではありません。
- ✓ 試合中に相手選手のジャッジに不服があったり、スコアが食い違うなど問題が起きた時は、すぐに自分自身で審判や役員に申し出てください。保護者やコーチに頼むことはできません。審判や役員はすべての選手の話の話を公平に聞いてくれます。自分自身の意見を、はっきり言えるようになることもトーナメントでの経験の大き

い成果です。

- ✓ 普段から試合をしていて疑問に思うことやわからないことがある場合には、本部に質問してください。選手自身がルールを学び、理解することはフェアプレイの向上のためにとっても大事なことです。

24. 大会が終了したら

- ✓ 大会が終了したら大会 HP に結果が発表されます。
- ✓ 自分の結果に間違いがないか、確認しましょう。もしも間違いがあったら、直ちに岡山県テニス協会の HP（お問い合わせ）より連絡してください。

25. ジュニアの保護者、コーチの皆様へ

- ✓ 試合中に保護者、コーチの皆様はアドバイスすることはできません。
- ✓ カウントの間違い等、歯がゆく思うことも多くあるかもしれませんが、選手自身が判断し、全力を尽くすことが選手の成長に繋がります。
- ✓ 保護者、コーチの皆様は、目の前の試合の勝ち負けに一喜一憂することなく、スポーツマンシップに則ったフェアな試合が行なわれるように見守ってください。
- ✓ 会場施設の使用上のルールを順守し、ごみの放置や路上駐車など近隣住民の方に迷惑をかけることのないよう、マナーの向上に一層のご協力をお願いします。

26. 相手の親や関係者による妨害

- ✓ 応援の皆様は隣接して行われている試合も含め、プレイの妨げになるような過度の応援は控えてください。
- ✓ また、保護者の方や指導者がコート外からジャッジコールをしたり、相手選手のジャッジにクレームをつけたりすることは慎んでください。
- ✓ 選手は相手選手の応援が妨害と感じた時には、ロービングアンパイアに申し出てください。

以上、

正しくルールを守って、皆でテニスを盛り上げていきましょう！

禁 転 載

岡山県テニス協会並びに同ジュニア大会運営委員会の許可なく転載または複製を禁じます。

編 集 者 岡山県テニス協会ジュニア大会運営委員会

※こちらの資料は、関東テニス協会様より許可を頂き、関東テニス協会ジュニアハンドブックを参考に作成させて頂きました。